

その他の虫

Amami saw stag beetle / *Prosopocoilus dissimilis* / Amami nokogiri kuwagata / ア マ ミ ノ コ ギ リ ク ワ ガ タ

奄美大島と近隣の島々に生息するアマミノギリクワガタは、日本で最も大きいクワガタで、オスは最大体長 8cm にもなる。黒い体に大きく力強い顎と数本の歯が特徴。あごが大きければ大きいほど曲がっている。森林に生息し、夜行性のため、夜に木の樹液を吸う。メスは卵を枯れた木に産み落とす。1～2 年幼虫として過ごし、数ヶ月の蛹期に入り、成虫となり、寿命は 2～3 ヶ月である。この厳つい見掛けの生物は日本ではペットとして珍重されている。

Father Ferrier's longhorn beetle / *Rosalia ferriei* / Ferrier beniboshi kamikiri / フェリエベニボシカミキリ

35,000 種類のカミキリムシの中の一つで、奄美大島の固有種である。6～7 月の短い期間に枯れたスダジイの木近くに生息しているところが見られる。体長 2～3cm と小さいが、体は鮮やかなオレンジで、黒い斑点が頭から体にある。触角は節があり、体より長い。英名にある「フェリエ」は明治時代(1868–1912)、宣教活動をしていた際、日本南部の島の昆虫の研究をしていたフランス人牧師の名前である。